The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	大阪大学総合図書館における ラーニング・コモンズを活用した 学習支援の取り組み
Author(s)	久保山, 健
Citation	
Version Type	AM
URL	https://hdl.handle.net/11094/14115
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

大阪大学総合図書館における ラーニング・コモンズを活用した 学習支援の取り組み　＜配布用＞

久保山　健 (KUBOYAMA Takeshi)
大阪大学 附属図書館 利用支援課 (サービス企画主担当)

<October 6, 2011>

兵庫県大学図書館協議会 研修会

会場：　神戸女学院

大阪大学
OSAKA UNIVERSITY

本日の骨子

1. 自己紹介
2. 総合図書館ラーニング・コモンズの概要
3. 総合図書館での学習支援
4. L.C.周辺のサービス、話題
5. L.C.は図書館内にあるべきか論について
6. 入館者数・貸出数増加を検証
7. 今後の課題：結びに代えて

大阪大学
OSAKA UNIVERSITY

1.　自己紹介

- 久保山　健　（くぼやま　たけし）
- 現在の所属
  大阪大学 附属図書館（総合図書館 / 豊中地区）
  利用支援課　サービス企画主担当　（6ヶ月+）
- 経歴
  - ・3月までは情報推進部 情報基盤課（約6年）
  - ・本学のラーニング・コモンズとの関わりは、IT関連のお手伝い

(*)さらにそれ以前は:　図書受入、雑誌全般、図書の契約、和漢書の目録

大阪大学
OSAKA UNIVERSITY

2. 総合図書館ラーニング･コモンズの概要 (1)

（前提）大阪大学附属図書館の構成

３地区（豊中・吹田・箕面）

４図書館、５部局図書室

〇経緯

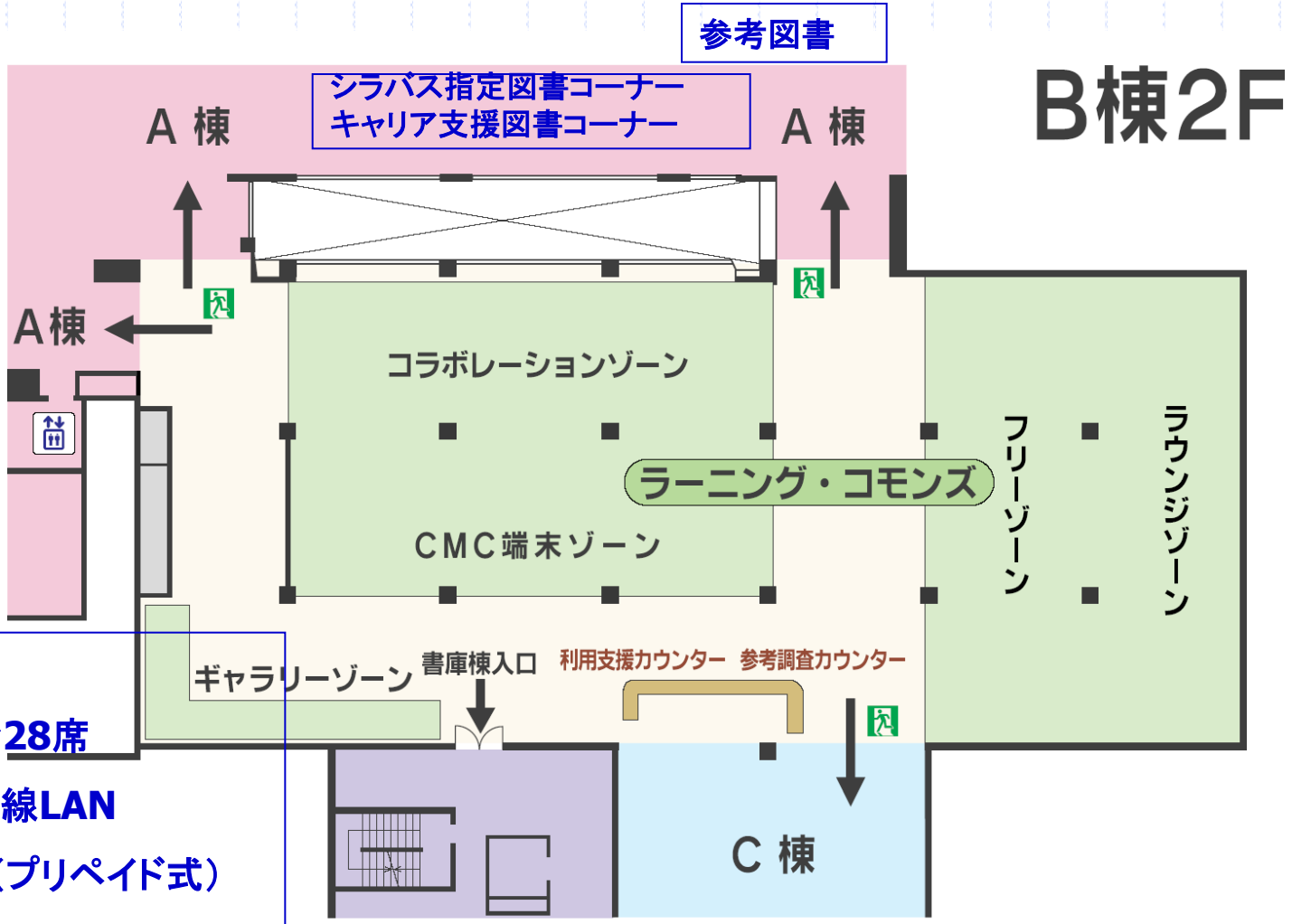
・“B棟”の耐震改修計画がきっかけ

・2008年度　工事

・2009.6.　オープン

大阪大学
OSAKA UNIVERSITY

2. 総合図書館ラーニング・コモンズの概要 (2)



756m²

94席、ソファ28席

PC18台、無線LAN

プリンタ1台（プリペイド式）

貸出用PC24台

貸出用プロジェクタ3台

[写真]

2. 総合図書館ラーニング･コモンズの概要 (3)

○ラーニング・コモンズ整備前後の動き

2006.7 附属図書館長は総長の指名する副学長
（図書館委員会で承認）（従来は図書館委員の互選）

2007.4.　事務組織を再編
（係組織を班編制に変更。生命科学図・理工学図の受入・目録業務を総合図に集約）

2007.10.　大阪大学と大阪外国語大学の統合
外国学図の発足

2008　総合図・理工学図で耐震改修工事

大阪大学
OSAKA UNIVERSITY

3. 総合図書館での学習支援 (1)

○授業一コマでの「図書館活用法入門」

- 主に1回生対象の必修科目「情報活用基礎」の一コマで「図書館活用法入門」を 実施
- 授業の初期段階にて
- 体制：サービス系のスタッフを中心にしたWGメンバー＋α
  （あるスタッフの例：講師3コマ、補助1コマ）
- テキストのWeb掲載。品質確保、運営のしやすさ。

http://www.library.osaka-u.ac.jp/others/tutorial/index.html

大阪大学
OSAKA UNIVERSITY

3. 総合図書館での学習支援 (2)

○Teaching Assistant (TA)

- 大学院生　計6名（経、人、理、基礎工、工、言文）；　25h/w (6名の合計)
- 学習相談、PC/ソフトの利用相談、ミニ講習会、選書、文献リストの作成、レポート・論文作成のアドバイス、
- 実績（2010年度）

講習会　8回、参加者　24名

対応件数　960件

大阪大学
OSAKA UNIVERSITY

3. 総合図書館での学習支援 (3)

○教員と連携した学習支援

(a)レポートの書き方講座（2010.6, 2011.6）

- 主に1回生を対象

  2010：全3回、延べ47名参加

  2011：全3回、延べ59名参加
- 内容：(次のスライド)
- 背景：
- 参加人数の増加：広報?　ニーズ?　場所?
- アンケート結果(2011)：全体の合計で「とても役に立つ」が約半数（一方、回毎に減った参加者…さすがに増えたりしないでしょうが）

好評に付き、
今年も開催！

レポートの書き方講座

（全3回）

レポートを書くときに、何から手をつけてよいのか、どう書いたらいいのか、分からなくて困っていませんか？　実習を織り交ぜたこの連続講座で、レポートを書く際の基本的な考え方や手順を身につけましょう。

【第1回】　6月13日（月）　5限（16:20～17:50）
テーマ：「まずは形から入ろう」
レポートの形式の整え方、Wordの基礎を学びます

【第2回】　6月20日（月）　5限（16:20～17:50）
テーマ：「最低限のルールを守ろう」
資料の探し方、引用の仕方、参考文献の書き方を学びます

【第3回】　6月27日（月）　5限（16:20～17:50）
テーマ：「よりよいレポートにするために」
論の構成や展開方法について学びます

場所：　総合図書館（豊中）
　　B棟2F　ラーニングコモンズ
講師：　堀　一成　准教授（大学教育実践センター）
対象：　学部1年次生（※希望があれば1年次生以外も可）
定員：　各回　20 名　（事前申込制、部分参加可）
備考：　ノートパソコン持参のこと（MS-Word必須）

参加希望者は、**氏名・所属・学年・参加回**を明記の上、下記までメールにてお申込ください。
申込先　sogo-kouza[at]library.osaka-u.ac.jp
※先着順で定員になり次第締切とします。

総合図書館　利用支援課　サービス企画主担当／久保山　TEL:06-6850-5056

大阪大学
OSAKA UNIVERSITY

3. 総合図書館での学習支援 (4)

○教員と連携した学習支援

(b)論文の書き方/文献の読み方プチゼミナール
(2010.12～2011.1)

全4回、延べ18名参加

教員と図書館スタッフの協同

大阪大学
OSAKA UNIVERSITY

3. 総合図書館での学習支援 (5)

○教員と連携した学習支援

(c) 実現できなかったN先生事例(2011.7)

背景

経緯

内容は全く決まっていなかったが･･･

大阪大学
OSAKA UNIVERSITY

3. 総合図書館での学習支援 (6)

○授業でのラーニング・コモンズの利用

- 共通教育科目「基礎セミナー・図書館パスファインダーをつくろう」
- 期間　2011年度前期, 全13回
- 受講生 3名（公開講座受講の高校生 2名を含む）
- 授業の概要

(*) 2010年度は、後期に2コマの利用

大阪大学 OSAKA UNIVERSITY

3. 総合図書館での学習支援 (7)

○授業でのラーニング・コモンズの利用

- 図書館としてのサポート内容

  授業等での利用規程の作成

  場所の確保、実習時などの補助など

- 成果物

  ワニの本棚（図書館パスファインダー）：「菅原道真って誰？」http://www.study-aid.net/contents/manabi-box/wani-bookshelf.html

  ワニの本棚（高校生版）：「表現規制問題って？」「ハングルってどんな文字？」http://www.study-aid.net/contents/manabi-box/wani-bookshelf-hschool.html

大阪大学 OSAKA UNIVERSITY

3. 総合図書館での学習支援 (8)

○図書館スタッフによる「ミニ講習会」

- 初心者向け講習会「論文を入手しよう！」(2011.6月、 同一内容を2回開催、45分)
- DB講習会の開催期間中に実施
- 参加者：①10名　②13名

(1) 論文を収集し、読む意味とは?
(2) 論文を探す方法
(3) 書誌情報から論文を入手しよう
(4) 論文DBを使ってみよう

○後期にスタッフやTAによる「オンデマンドミニレクチャー」を企画中

大阪大学 OSAKA UNIVERSITY

3. 総合図書館での学習支援 (9)

○ライティング指導を図書館がすべきかどうか

・個人的見解

環境や役割の変化

”理想” だけでなくニーズに応える

大阪大学
OSAKA UNIVERSITY

3. 総合図書館での学習支援 (10)

○ライティング指導を図書館がすべきかどうか

3. 総合図書館での学習支援 (11)

○ライティング指導を図書館がすべきかどうか

大阪大学
OSAKA UNIVERSITY

3. 総合図書館での学習支援 (12)

○ライティング指導を図書館がすべきかどうか

- 図書館「が／で」すべきか
- 学内パブリックな場所の一つ
- 教育研究支援を行う組織と言うなら
- 「強み」は?　資料?　場所?　PC?　NW環境?　スタッフ?　TA?

大阪大学
OSAKA UNIVERSITY

4. L.C.周辺のサービス、話題 (1)

○関連コーナー

・ギャラリーゾーン（展示ケース、ピクチャーレール）

・特設コーナー（学生選書からスタート）2010.10～

大阪大学 OSAKA UNIVERSITY

4. L.C.周辺のサービス、話題 (2)

・シラバス指定図書コーナー 2011.3～

- 全てのシラバス指定図書ではない。2011年度は、当年度に追加された図書を2冊。
- リストの提供や、全ての図書の配置等が課題。

大阪大学
OSAKA UNIVERSITY

4. L.C.周辺のサービス、話題 (3)

・キャリア支援図書コーナー　2011.8～

- キャリア支援課とのコラボ

大阪大学
OSAKA UNIVERSITY

4. L.C.周辺のサービス、話題 (4)

- 図書館コースリザーブサービス；International College 対象　2011.10～
- ○△コモンズ!?　今年度?

- 最近興味を引いた事例

(東北大学附属図書館)

英語の多読法とリーダーズコーナー（本館1階 メインフロア）

http://tul.library.tohoku.ac.jp/modules/main/pub/readers.html

高等教育開発推進センター講師が問い合わせ先に

大阪大学 OSAKA UNIVERSITY

4. L.C.周辺のサービス、話題 (5)

○場の活用、コラボの広がり

・OPUS+（オーパス）映像コンテスト

・English Cafe

・ポスタープレゼンテーション（工学英語Ⅱ）

*) 2-3つ目は理工学図書館。図書館報 45(1) 2011.8 P.4 参照

- 開かれた図書館というイメージが作られたから？
- 他部署とのコミュニケーションのきっかけになる

大阪大学 OSAKA UNIVERSITY

4. L.C.周辺のサービス、話題 (6)

○IT(PC)支援　　<軽く>

かつてはコンピュータ室の場所の提供

今はサービスの一部

サポート体制の不備？　サービスの位置付け

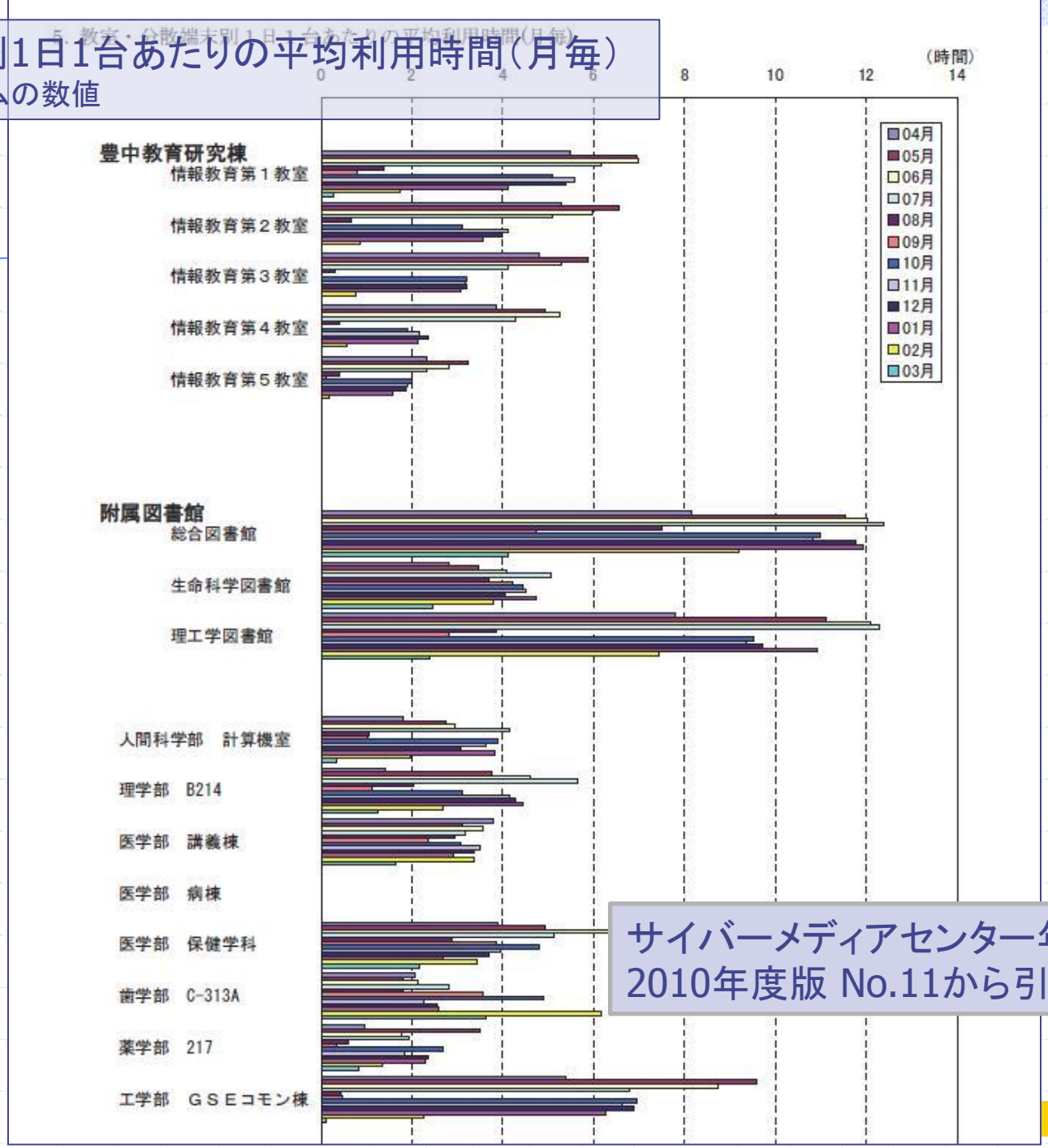
PCのログオン時間

大学教育実践センターIT支援窓口とコラボ!?

大阪大学
OSAKA UNIVERSITY

教室・分散端末別1日1台あたりの平均利用時間（月毎）

(*)情報教育システムの数値



サイバーメディアセンター年報
2010年度版 No.11から引用

大阪大学
OSAKA UNIVERSITY

4. L.C.周辺のサービス、話題 (7)

○設備について補足　<軽く>

- ソファは置くべきか
- アメニティ向上や飲食、自販機、カフェテリア
- 電源コンセント
- OAフロアの設計

大阪大学
OSAKA UNIVERSITY

4. L.C.周辺のサービス、話題 (8)

○飲食について

- 阪大図書館のルール
  - フタ付き飲物はOK
    但し、ラウンジコーナーではカップ飲料も可
  - 食：　全て不可
- 自動販売機
  カップ式の自販機（ラウンジコーナー）
  ペットボトルの自販機（東出入口の脇）
- 課題：ルールをユーザに伝えられていない。
  共有できていない

大阪大学
OSAKA UNIVERSITY

4. L.C.周辺のサービス、話題 (10)

○飲食について：2009～2011のポスター

4. L.C.周辺のサービス、話題 (11)

○飲食について

・資料保存の観点？
・建物管理の観点？　におい？
・ユーザのベネフィットは何？

皆さん、残業中に．．．？

・北米での事例
・「図書館内のカフェテリアのこと」
http://blog.goo.ne.jp/kuboyan_at_pitt/e/a1f3567c5e02d00e5b3ec77d9c2d58c3

大阪大学
OSAKA UNIVERSITY

4. L.C.周辺のサービス、話題 (12)

〇飲食について

・アメニティの観点も交え、もう少し柔軟に考える余地はあるのでは?

・場所を限定する
・周辺環境も考慮した上で

・飲食文化の違いはある

大阪大学
OSAKA UNIVERSITY

5. L.C.は図書館内にあるべきか (1)

○理論的、ないし政策動向はさておき…

　報告書を後ろ盾に？

○本質的な問題でないような…

○いくつかの視点

・よく使われている印象

・ユーザからの苦言？　雑談スペース？

（"Student Commons"との対比）

・比較的パブリックな場所

※それ以外のパブリックな場所でなく、図書館である理由は?

大阪大学
OSAKA UNIVERSITY

5. L.C.は図書館内にあるべきか (2)

〇雑談スペース？

- 1回だけ観察調査をしてみた
  - “質的調査”!?
  - “証言”を客観的に評価する努力
  - 結果は…
- 多少は雑談、気晴らし、情報交換という場になる側面も認識した上で、観察したらどうなるか

例）「あさっての〇〇のテスト、どう？」とかいう会話は起こりうる。

大阪大学 OSAKA UNIVERSITY

5. L.C.は図書館内にあるべきか (3)

○ Sheffield大 (UK) の Information Commons

http://www.sheffield.ac.uk/infocommons/index

図書館から徒歩数分のところにあるらしい

○University of Guelph (CAN)

http://www.learningcommons.uoguelph.ca/

興味深いURL

大阪大学
OSAKA UNIVERSITY

5. L.C.は図書館内にあるべきか (4)

○個人的見解・理解

- 資料の電子化・NW化
  →来館ニーズの相対的減少
  →場所の新たな活用法
- 基本的にポリシーの問題!?
- 学習支援も求められるなら、提供する
- マンパワー/予算は経営の問題だが、新規事業であるなら、既存業務の簡素化・効率化も。
  #学習支援とはどこまで行うべき?
- 目標と手段の底上げ
  #ラーニング・アドバイザーが教育実践センター、文学部等にも…

大阪大学
OSAKA UNIVERSITY

6. 入館者数・貸出数増加を検証 (1)

○(その前に)歴史の振り返り

2007.10.　大阪大学と大阪外国語大学の統合

2008年度　貸出数の上限を拡大（8→16冊）

総合図書館で耐震改修工事

2009年度 (5月) 総合図書館の開館時間延長（授業期）

平日：21時→22時　土日：17時→19時　祝日：新規(10-17時)

（6月）総合図書館L.C.オープン

2010年度 (12月) 総合図書館で早朝開館の試行

（8:40開館、授業期間）*)2月まで

2011年度 (4月) 総合図書館で早朝開館の実施

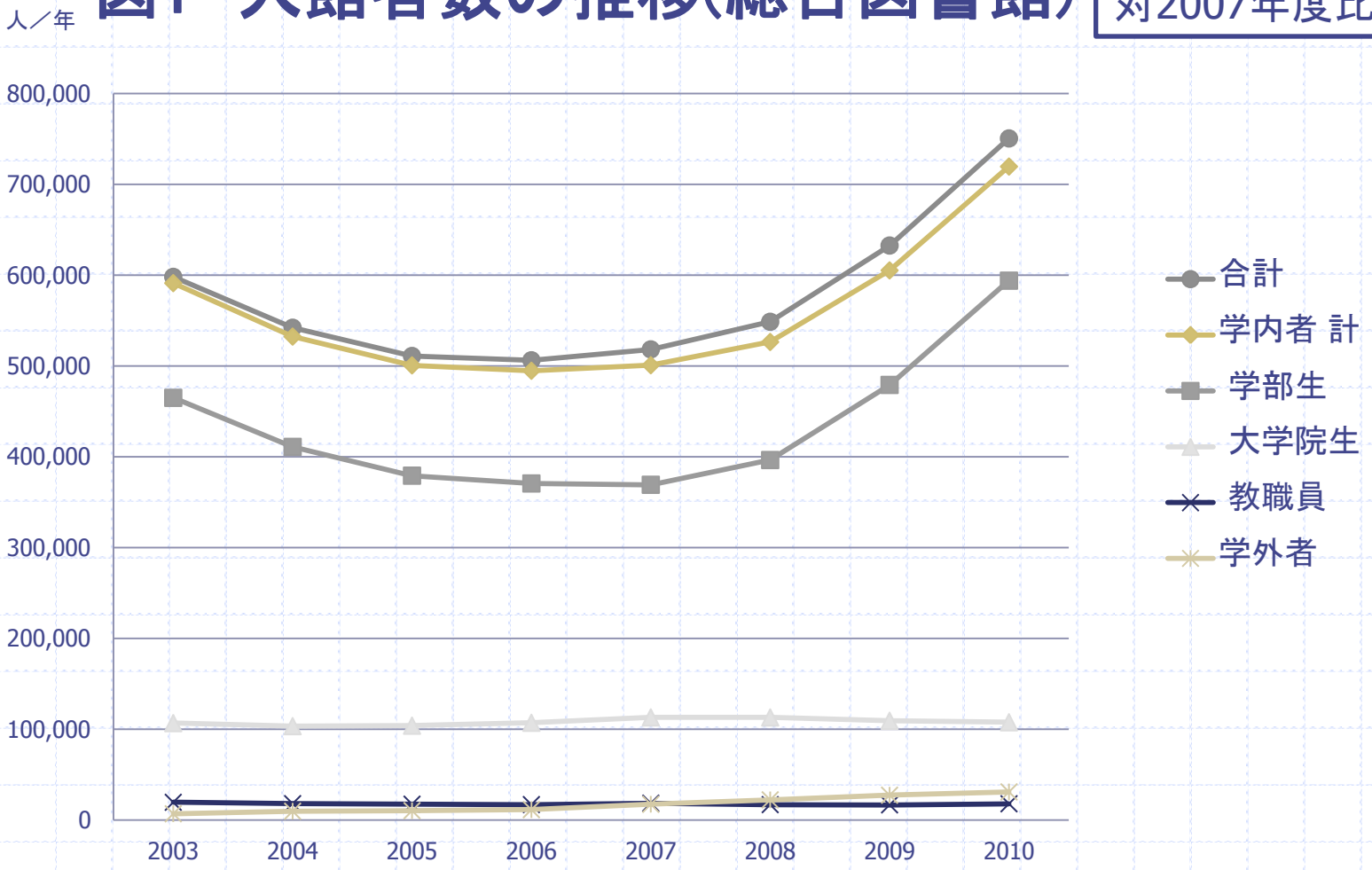
（8:00開館、授業期間）

大阪大学 OSAKA UNIVERSITY

6. 入館者数・貸出数増加を検証 (2)

図1　入館者数の推移(総合図書館)

2010年度の
対2007年度比



6. 入館者数・貸出数増加を検証 (3)

○入館者数増加の評価

・3年間で1.61倍(学部生)の伸びは大学統合効果を超えていると判断

・”学内入館者数／開館総時間数” の値も、1.30

・L.C.効果 が大きいことは間違いないだろうが…

同エリアの座席数は全体の1割にも満たない

＞全体的な整備による機能の充実

＞従来からの利用者のための静かな環境の確保

＞いくつもの学習環境整備の取り組み

＞関連部署との連携

＞開かれた図書館というイメージ発信

大阪大学 OSAKA UNIVERSITY

6. 入館者数・貸出数増加を検証 (4)

○入館者数増加の評価

・あるいは、単なる新築効果!?

・一方、大学院生・教職員については、微減

- 非来館型利用にシフトしたことが大きいと推測
- 自習型のユーザをカバーできていない懸念?

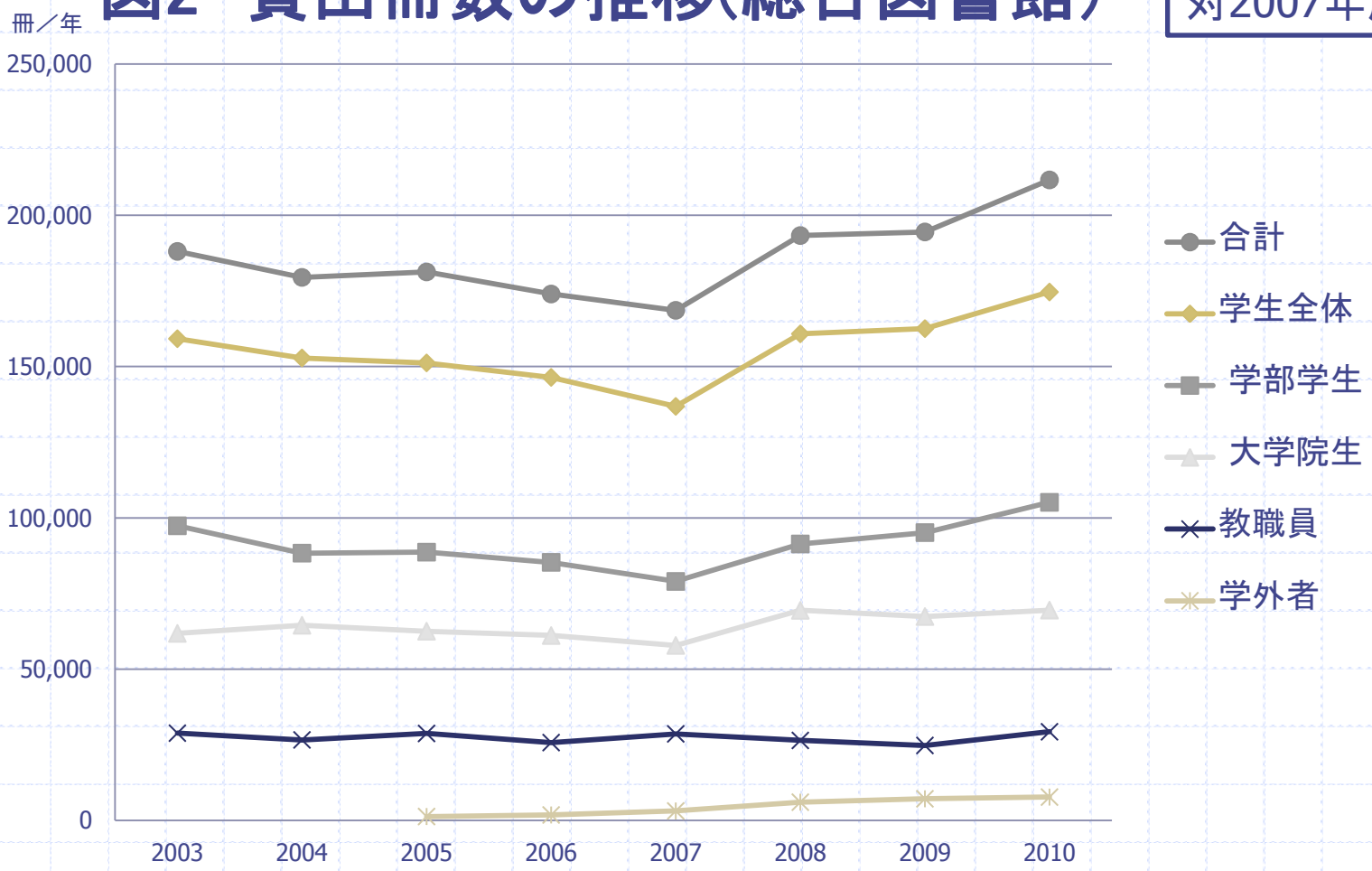
・実入館者数の増加は不明

大阪大学
OSAKA UNIVERSITY

6. 入館者数・貸出数増加を検証 (5)

図2　貸出冊数の推移(総合図書館)

2010年度の
対2007年度比



6. 入館者数・貸出数増加を検証 (6)

○貸出数増加の評価

・人が集まったほど本を借りる学生が増えたわけではない!? “貸出冊数／入館者数” の指数は 0.83

#分母が「ゲート通過人数」だとすると…

・資料整備が追いついていない? 館内で資料を利用する傾向??

・大学院生：貸出冊数の上限増加の2008年に急増し、その後は横ばい＝上限変更が大きな要因

大阪大学
OSAKA UNIVERSITY

6. 入館者数・貸出数増加を検証 (7)

○それらの推移から見えてきたもの

- 場所としての総合図書館は、”学部生向け学習用図書館の性格”が強くなりつつある
- ”場所としての利用”が相対的に増えたことが推測

- 座席数の変化：2010年度の対2007年度比は 1.04
- 学外者の数値が率としては最大の伸び

大阪大学
OSAKA UNIVERSITY

7. 今後の課題：結びに代えて

〇議論できる座席の増加

〇学習支援の取り組み

図書館スタッフのスキル確保、

「商品化」「事業化」も

(*)他部署の学習支援担当の把握も

〇アメニティ、学習しやすい空間作り

〇空間デザイン力

〇3年目を迎えたL.C.をどうしていくか

大阪大学
OSAKA UNIVERSITY

参考資料

・上原恵美. 大阪大学のラーニング・コモンズにおける教員やTAとのコラボレーション（これからの図書館を考える-琉球大学附属図書館ワークショップ. 2011年2月17日）

http://ir.lib.u-ryukyu.ac.jp/bitstream/123456789/18848/1/20110217_uehara.pdf

・上原恵美, 赤井規晃, 堀一成. ラーニング・コモンズ：そこで何をするのか、何がやれるのか. 図書館界 63(3) 2011.9

大阪大学 OSAKA UNIVERSITY